

モットー

難しい言葉を使わない。子育て中のママとして、主婦の立場から等身大のアドバイスを心がける。

ストレス解消法

ヨガ  
親友に話を聞いてもらう

趣味

国内旅行・海外旅行  
(旅行会社勤務の経験を活かし、最近は自分でプランを立てての個人旅行です)



子どもが小さいうちにこそ  
将来のお金を考えてほしい

に困るママが増えてしまうのではないかと危惧。「周囲のママたちと同じ立場で寄り添って、FP3級程度の知識は持っていたほうがいいよ」というメッセージを伝えていく場を自分でつくろうと考えたんです。そうして2013年に設立したのが、マネーサロンでないろです。ちょうど同じころ、キッズ・マネー・ステーション(KMS)との出会いも果たす。KMSとは、子どもが「お金オンチ」にならないよう、お金の付き合い方を学ぶプログラムを全国で展開している民間団体だ。SNSでKMSの取組みを知り、「母親だけでなく子どもにも金銭教育を広めていく必要がある」と感じた申宮さんは即、認定講師の養成コースに応募。現在は30期を超える修了生の第5期生として、九州で最初の認定講師となった。

申宮さんは当初の思いのとおり、ママたちへの金融教育と子どもたちへの金銭教育という二本柱で活動を行っている。ママ向けは、自主開催のセミナーを通じた情報提供が主だ。ママ友に「FPなんです」と明

かすと「すごいよね」と距離を感じて一歩退くかのような反応も多いが、生活するうえで知っておくと役立つFP知識は多い。そこでセミナーでは、実は難しい、初心者でも手軽に活用できる制度をテーマに据えている。具体的には、ふるさと納税のやり方、医療費控除やiDeCoの仕組みなど。使うとお得な制度は主婦層の関心が強く、「〇〇がお得だって聞いたけど本当なの？」と興味を持った人がよく参加してくれるそうだ。セミナーで関心を深め、自分に合った解決策を知りたいと相談を申し込んできた人には、個別面談でアドバイスをを行う。内容は、家計の見直しや教育費が多い。相談者は小学生の母親が大半だが、申宮さんとしてはもっと子どもが小さいうちに来てほしいという。「私自身もそうでしたが、子どもが小さいころは面倒を見るのに手一杯で、将来のお金のことまで考えが回りません。でも、子どもが幼稚園・保育園に通っている時期が本当は貯め時。小学校卒業まで先送りしていると、選択肢が非常に限られてしまいます。必要な額を知っても、貯める時間がないので、『私立大学には進学させられない』とお子さんに話してもらうことに

●Profile

くしみや・ゆきこ〇東京都練馬区生まれ。短大卒業後、専門商社、旅行会社に勤務し、出産を機に退職。2007年、夫の転勤に伴い福岡市へ転居する。2013年、「マネーサロン ないろ」を設立。家計の見直し、教育資金、老後資金に関する相談対応を行うほか、母親や子ども向けの金融教育・金銭教育にも注力する。



申宮由紀子 さん

マネーサロン ないろ 代表  
AFP  
キッズ・マネー・ステーション 認定講師

# お金との付き合い方を親子に伝え 家庭間の格差是正に尽力



お金の賢い貯め方や使い方方を把握している家庭とそうでない家庭の格差をなくしたい……。そんな思いを胸に福岡県で活動をしているのが、「マネーサロン ないろ」を主宰する申宮由紀子さんだ。申宮さんはもともと東京の専門商社・旅行会社で働いており、金融機関での勤務経験はない。しかし、あるとき自分も夫もお金に疎いことに危機感を覚え、2級ファイナンシャル・プランニング技能士の資格を取得した。数年後、夫の転勤に伴い福岡で暮らし始めた。その勤務先のグループ再編によって夫が転籍となり、収入・福利厚生ともに予想外の大きな変化を迎える。申宮さんはそのとき、「2児の子育ての真っ最中だったこともあり、「女性やママといった立場に関係なくお金のことを話せる雰囲気が必要」「世の中の離婚率が上がっているのに、お金のことは夫に任せきりでは生活

拝見！ 隣のコンサル

独立系FP編 ー 第3回